



発行責任者
特定非営利活動法人
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
(通称：NPO 法人れんきょう)

会長 鈴木 秀美
相模原市中央区富士見 6-1-20 (あじさい会館内)

T E L & F A X 0 4 2 - 7 5 5 - 5 2 8 2 (直 通)

題 字「わ」 相模原市長 本村 賢太郎

さーくる 障害理解

検索

《市長・副市長を迎えての

令和 4 年度福祉施策懇談会結果報告》

去る 1 月 1 4 日に令和 4 年度福祉施策懇談会を、本村市長、隠田副市長、河崎健康福祉局長、地域包括ケア推進部長・各関係課長の出席のもと開催しました。障がい者団体側からは 1 5 団体 2 1 名が出席しました。本村市長は、公務が入り、3 0 分のみのご臨席と聞いておりましたが 1 時間出席頂きました。

冒頭、主催者である NPO 法人れんきょうの鈴木会長がコロナ感染により欠席の為、挨拶文を司会が代読しました。会長挨拶は、まず、今日ご出席の市長、副市長をはじめ市の職員の皆様のご出席に謝意を表し、昨年 1 0 月に障がい児者福祉団体に行った福祉施策等に関するアンケートの経過について説明し、本日は、障がい者団体と市行政が直接会って話し合える数少ない機会であり、忌憚のない意見交換を通じて障がい者団体と市行政の相互理解を深め、福祉施策の向上を希望しますと挨拶文を披露しました。

続いて本村市長よりご挨拶を頂きました。市長からは、まず、本日、皆様のご提言・ご要望を聞き、7 2 万市民、誰一人取り残さないとの視点で市行政を行ってまいりますと表明され、続いて、コロナ感染防止対策について市行政が取り組んだ経過のことと、人権尊重まちづくり条例制定に取り組んでいること、東京 20 20 パラリンピックを機にスポーツを通じて共生社会を実現しようというプロジェクトを立ち上げていることの話があり、最後に 20 21 年実績で、相模原市への転入者と転出者の差引きで転入者超過が 3 8 8 7 人あったこと、そしてこの実績は、全国の中でトップ 1 0 に入ること、これからも「子育てするなら相模原、起業するなら相模原、第 2，第 3 人生を楽しむなら相模原」と相模原が選ばれる町になるよう皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと締めました。

続いて、出席者紹介、但し、障がい児者団体側は書面で行い、市より、令和 4 年度の障害福祉関係等の概要並びに今後の障害者福祉関連施策についての説明があり、その後懇談に入りました。懇談は多方面に亘って活発に行われ、市長、副市長より回答する場面がいくつか有りました。障がい者団体側からは出席団体の全団体が発言されました。

最後に、隠田副市長から以下の総括コメントを頂き、終了しました。
本日の懇談会でご意見を聞いて、様々なご要望があることを認識した。障がい者団体への要望・提案に対し、市の回答が冷たいと思われる方も多いのではないかと思う。市も皆様の要望に応えられれば非常に嬉しいが、そこには常に予算や人材の問題がある。障害者の関係予算では、市の

総予算の10分の1で今年11億円増加しているが対象者が増えている為であり、新しい事業があった訳ではない。今、行財政構造改革を行っている。真に必要な施策は何かを皆さんと一緒に考えて行きたい。

一方、市としては、新たな財源を確保することをやっていかねばならないと思う。例えば重度障害者医療費助成制度では、市が全額負担している部分を神奈川県助成対象にするよう要望するなど、財源の確保を図っている。

いずれにしても皆様のご協力なしには障害者施策は進まないため、引続き話し合いの場を持たせて頂きたい。本日は貴重なご意見、本当にありがとうございました。

《令和4年度れんきょう研修会報告》

「れんきょう」研修会「今、何に困ってる？自分らしく生活するために」に参加して令和5年3月12日（日）、相模原市民会館で「れんきょう」研修会が3年ぶりに開催されました。今回、講師には、座間市を拠点に活動されている精神保健福祉士協会前会長の池田洋子さんを迎え、「今、何に困ってる？自分らしく生活するために」というタイトルでお話をいただき、55名の方にご参加いただきました。



池田さんは、昭和50年から今まで47年間、病院や地域で暮らしている障がい者の支援に携わってこられ、困難や生きづらさを抱えた精神障がい者や引きこもりの方やご家族などの相談を受け、その方たちの抱える課題に寄り添いながら解決のためのお手伝いをされてきました。また、その方たちの目標や自主性や“その人らしさ”を尊重し、幅広い意味での社会資源の活用が本人の回復に有効と考え、ネットワークの構築や情報の収集力を重視されてこられました。また力を入れてこられたのはアウトリーチ（こちらからご本人の自宅に訪問して行う支援）に力を入れ、大きな成果を上げて来られました。

講演の中で、今の当事者やご家族が地域生活の中で抱えている問題は、複数の問題が複雑に絡み合っているため、支援も“重層的な支援体制”の整備が必要だとおっしゃられていました。例えば、1つの家族が認知症患者の介護と引きこもりの問題を同時に抱え、当事者個人への支援ではなく、家族全体を複数の専門的な支援者が協力して関わっていかねば解決が難しいということです。今は、そういう複数の課題を対応する体制が十分に出来ていないので、役所の相談窓口に行っても、解決が困難ということが起こっているようです。

また、講演の中で印象に残ったのは、支援者や協力者との信頼関係構築について。「当事者にとって自分を信じる事が出来ない人は他者を信じるのはハードルが高いと思います。まずは自分を信じてもらえば他人も信じられるようになる」とおっしゃられていたところです。支援をすることにおいて利用者さんとの信頼関係は欠かせません。そのことを“ラポールの構築”と言いますが、しかし、支援者が利用者さんから信頼を勝ち取ることは、実は簡単なことではありません。そこで池田さんは、まずは、ご本人さんが「等身大の自分を受け入れることで相手を受け入れるプロセスが成り立つと思う」と、まず自分を信じてもらうことで、他人である支援者も受け入れて信頼してもらえるとおっしゃいます。自分に自信がなく、自分を信じられない当事者は本当に多く、そのことが、障がい者の社会参加や人間関係構築を困難にしている原因の一つであり、また自分の良さに気付かずに“自分らしく”生きることも出来なくなることにも繋がっているとようです。

池田さんは障がい者ではありませんが、とても長い期間たくさんの障がい者と関わり、彼らの声に耳を傾けてこられました。そのことによって、池田さんはご本人の意思をとても尊重されていると感じました。「出来ないことをやりなさい」というのは、追い詰めているように思います。その方にとって、やったほうがいいよねと

いう無理強いはしないようにと一生懸命に考えています」と。自分の価値観を押し付けないこと、その方の意思を尊重することというのは、その方を一人の人間として尊重していることになります。その姿勢は、障がい者である私にとっても、とても共感できることだと思いました。

《令和4年度新成人を祝う会報告》

令和4年度の障がいのある方々のための「新成人を家会う会」は令和5年1月22日（日）に、けやき会館・大樹の間で開催されました。

今回も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、来賓の人数も大幅に制限されましたが、本村市長と寺田市議会議長のご両名にご多忙の中ご臨席いただきました。昨年同様コロナ禍の中での開催となったため、第一部の式典のみで第二部の祝賀会は中止となりました。また、参加者も新成人とご家族のみで、学校の先生方等関係者の参加は見送られました。

式典は主催者である「新成人を応援する会」の藤井会長の挨拶で始まり、その後、本村市長、寺田議長の祝辞に続き、「新成人の呼名」が行われました。参加した新成人47名の一人一人の名前が呼びあげられると元気に堂々とした返事をしていました。次に、新成人の代表数人による「新成人の言葉」が宣言されました。



最後に、新成人になられた方々の、誕生から成人に至るまでのスライド写真が映し出されました。誕生から現在に至るまでご両親と歩まれた日々を懐かしく思い出させるものであり、また関係者に対する感謝の気持ちを新たにされたことと思います。

新型コロナウイルスが収束して、新成人を祝う会が以前のように、保護者、学校の先生方、友人達との和気あいあいとした懇談の場となるよう願っています。

《恒例の障がい者交流イベント

2023年度ボウリング大会開催案内》

日 時：令和5年6月17日（土）午前9：00～11：00
受 付：午前8：10～8：30 2階 受付カウンター前
場 所：相模原パークレーンズ（中央区相模原2-7-4）

JR 横浜線相模原駅南口寄り徒歩2分（電話 042-755-1110）

参 加 費：¥400円

申 込 方 法：各団体または作業所で取りまとめの上、FAXでお申し込み下さい

申込・問合せ先：認定NPO法人 相模原ボランティア協会

（電話：FAX 042-759-7982）

《「さーくる」アクセス状況報告》

	R4年				R5年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
訪問回数(回)	2071	2356	2167	1741	1708	1809
訪問人数(人)	1806	1926	1882	1484	1461	1513
見られたコンテンツ(件)	4578	4574	4341	3727	3544	4034

さーくるのイベントを最新のものに更新したら、見てくれる方も増えてきました。令和4年度のさーくるの改良計画で、掲載期日を表示してもらうことになっています。

さーくる 障害理解 **検索**

《令和4年度 相模原市障害福祉関係の概要》

◆障害者の状況(令和4年4月1日現在) ※合計欄の()内は前年同時期的人数

■身体障害者手帳取得者数

障害別内訳

視覚	聴覚	言語	肢体	内部	合計
1,275人	1,880人	179人	9,151人	7,141人	19,626人(19,835人)

等級別内訳

1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
7,467人	3,017人	2,539人	4,451人	931人	1,221人	19,626人(19,835人)

■知的障害者数(判定別内訳)

最重度 A1	重度 A2	中度 B1	軽度 B2	合計
1,088人	1,117人	1,477人	2,838人	6,520人(6,282人)

■精神障害者(精神障害者保健福祉手帳 等級別内訳) ※令和4年3月31日現在

1級	2級	3級	合計
1,318人	5,978人	2,660人	9,956人(9,313人)

※精神障害者 16,259人(うち精神障害者保健福祉手帳所持者で自立支援医療受給者は7,360人)

◆令和4年度における障害福祉関係の予算及び主な事業の概要等

■市予算(一般会計)

令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	対前年度増減額	伸び率
311,200,000千円	298,900,000千円	12,300,000千円	4.1%

■障害福祉関係予算

区 分	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	対前年度増減額
社会福祉総務費(抜粋)	79,222千円	41,413千円	37,809千円
障害者福祉費	23,512,150千円	22,724,282千円	787,868千円
療育センター費	106,352千円	87,159千円	19,193千円
障害者支援センター費	281,309千円	280,622千円	687千円
児童福祉総務費(抜粋)	4,847,605千円	4,607,487千円	240,118千円
母子保健費(抜粋)	5,429千円	5,429千円	0
精神保健福祉費	1,963,084千円	1,879,714千円	83,370千円
合 計	30,795,151千円	29,626,106千円	1,169,045千円

※社会福祉総務費：身体障害者福祉専門分科会・審査部会経費、さがみはら成年後見・あんしんセンター運営費、地域福祉推進経費、成年後見制度利用促進事業、福祉従事者メンタルヘルス相談事業

児童福祉総務費：障害児施設措置費・給付費

母子保健費：自立支援医療給付(育成医療)

《令和4年度に実施した主な障害福祉関連施策》

1 医療的ケア児等への支援

医療的ケア児等に対する総合的な支援体制の構築に向けた取組を推進した。

- ・4月から医療的ケア児等コーディネーターを配置した(緑・南障害者相談支援キーセッションに各1名ずつ)。
- ・医療的ケア児等の支援に関わる保健、医療、福祉、子育て、教育等の関連分野が一堂に会し、課題や対応策を協議する医療的ケア児等支援地域協議会を新たに設置した。
- ・医療的ケア児等が安全・安心に保育所等を利用するための「保育所等における医療的ケアの実施に関するガイドライン」を策定し、同ガイドラインに基づく相談を開始した。

2 踏切点字ブロック、ことばの道案内の総点検

令和4年4月25日、奈良県大和郡山市の踏切で、目が不自由な女性が電車と接触し、死亡する事故が発生したことを受け、本市では、踏切に設置している点字ブロックの総点検を実施するとともに、併せて、ことばの道案内のルート案内及び点字ブロックの総点検を行い、破損箇所の修繕を行った。

また、市役所周辺の点字ブロックを張り替えるとともに、一部のバス停で中乗りの点字ブロックを新設した。

3 合理的配慮の事例集の配付

市民や民間事業者に対し、障害ごとの特性や合理的配慮の理解を図るために作成した合理的配慮の事例集を6月に、約5,300の事業者に配付した。

4 高次脳機能障害に特化したパンフレットの作成

「見えない障害」ともいわれる高次脳機能障害の症状や対応について、具体的な例や挿し絵を用いて、精通していない方にも理解を図ることを目的にパンフレットを作成し、7月に配布した。

5 障害者ハンドメイド商品販売会の7月の実施

これまで障害者週間に合わせて市役所本館ロビーで12月に実施していた販売会を7月にも実施した。また、12月の販売会は日数を増やして実施した。

6 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）の申請書の電子化

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）の申請書を電子化し、8月に市ホームページに掲載した。

7 視覚障害なんでも相談サロンの開催

視覚障害のある方の生活をサポートするため、ピア相談や情報交換の場の提供等を行う「視覚障害なんでも相談サロン」を市視覚障害者協会のご協力により開催した。

日時 令和4年8月25日（木）から毎月第1火曜日及び第3木曜日 午前10時から
場所 視覚障害者情報センター研修室ほか

8 遠隔手話通訳サービスのテスト利用を開始

緑、中央、南高齢・障害者相談課において、パソコンのビデオ通話機能を使って、他の窓口にいる手話通訳者が通訳を行う遠隔手話通訳サービスのテスト利用を8月から開始した。

9 パラスポーツ体験会の3年ぶりの開催

東京2020パラリンピック開催を契機に、パラスポーツの体験と障害のある方との交流を通じて障害に関する理解促進を図ることを目的とした体験会を3年ぶりに開催した。

日時 令和4年11月13日（日） 午前10時から午後4時まで
場所 横山公園 人工芝グラウンド内（ねりんピックかながわ2022と同時開催）

10 障害者週間に合わせた障害に関する理解促進

本市では、「共にささえあい 生きる社会」をキャッチフレーズに掲げ、障害に関する理解促進を行っており、障害者週間には、従前から実施している市役所や主要駅への横断幕の設置、バス車内のポスター掲示などのほか、今年度から公共施設等のデジタルサイネージにおける動画放映や商業施設等のヘルプマークのポスターの掲出など新たな取組を行った。

11 こころサポーター養成研修の開催

メンタルヘルスや精神疾患の正しい知識を持ち、地域や職場でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族に対して、できる範囲で手助けする「こころサポーター」の養成研修を神奈川県と連携し、11月と12月に開催した。

12 重度障害者を受け入れる生活介護事業所の整備促進

令和5年度末までに3箇所の整備目標を掲げており、令和4年度は既存施設の改修事業として定員増(20名⇒30名)を図った。なお、令和5年度整備分については、7月から公募を実施したが、応募がなかった。

13 原油価格・物価高騰下における支援事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、次の事業について実施した。

(1) 重度障害者等特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、食費、原油等の物価高騰下における市独自の支援として、令和4年7月1日現在、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当又は特別児童扶養手当を受給している方を対象に、プッシュ型の特別給付金として障害児者1人当たり5万円を支給した。

(2) 相模原市福祉有償運送燃料費助成事業

福祉有償運送事業は、営利を目的とした事業ではないため、運送の対価設定が低く、燃料油の高騰は団体運営に大きな影響を与えていることから、市福祉有償運送の登録団体17団体に対し、負担軽減を図ることを目的に、価格上昇相当分の燃料油代を助成した。

(3) 相模原市高齢・障害者施設等原油価格・物価高騰緊急対策支援事業

原油価格・物価高騰の影響を受ける高齢・障害者施設等に対し、指定サービスの規模等に応じた支援金を給付することにより、施設等の安定的な運営の継続を図ることを目的として、支援金を給付した。

14 新型コロナウイルスワクチンに係る障害者向け集団接種会場の設置

令和3年度に引き続き、令和4年度においても、障害のある方が安心して接種を受けられるよう、専用の集団接種会場を設置し、接種の促進を図った。

15 松が丘園、けやき体育館（市社会福祉事業団）の取組

(1) 手話通訳者養成事業新規講座の実施

日常会話習得を目的とする講座と手話通訳者を目指す講座との間を埋めるための「中級応用講座」を開設し、切れ目のない継続的な手話の学習機会の確保を図った。

(2) 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の実施

市内の事業所職員を対象とした行動障害の支援者養成研修について、受講のニーズに合わせて定員を増員（30名⇒50名）して実施した。

(3) パラスポーツ体験会の実施

けやき体育館において、障害者週間に合わせて、イベント（けやきウイーク）を開催し、パラスポーツ体験会や工作活動などを行い、今年度は、新たにVRチェアスキーの体験会を実施した。

《当事者の恋愛・結婚・出産・子育てでの伝道師

和田さん御一家、再び、相模原の地に降臨！》

相模原市精神障がい者仲間の会（あしたば会）

榛澤昌高

コロナ禍で、3年間、行事をほとんど行えなかった「あしたば会」でしたが、ホント久しぶりに講演会を開催することが決定いたしました！パチ！パチ！パチ！ しかも今回は、9年前にも「あしたば会」講演会でお招きし、「恋愛・結婚・出産」をテーマにお話しをされて、私たちの心に“強烈なインパクト”を残していった横浜市旭区のピアサポーター、あの和田さん御一家が相模原の地に再び“降臨”します！

波乱に満ち、困難の壁を何度も“負けてたまるか”と乗り越え、世間の偏見と差別に猛然と立ち向かってきた彼らの生き様は、まさに“戦士”！ただ彼らのお話はユーモアとウィットに富み、困難を笑い飛ばすほどのパワフルさも兼ね備えています！だからこそ、自身の障がいとも、世間の無理解とも戦わざるを得なかった私たち当事者の心に突き刺さり、共感と共鳴を生み出すのではないのでしょうか！

16年前、公一さん、千珠子さんは運命的な出会いを果たし、交際を始められ、程なく千珠子さんは懐妊されました。しかし当事者同士の結婚と出産に周りは猛反対。孤立無援の中、反対を押し切り、美珠さんを出産。子供を守り抜きました。今は当事者の恋愛・結婚・出産・子育ての啓蒙の為、講演、執筆、相談対応、メディア出演など行いながら、美珠さんを育てておられます。その美珠さんは、昨年ご両親のことを作文で書かれ「全国中学生人権作文コンテスト県大会」で最優秀賞に輝きました！今回美珠さんには、その作文をご披露いただきます！

当事者の恋愛・結婚・出産・子育ては、未だ周りから賛成されない場合が少なくありません。和田さん御一家は「自助グループ精神障害者当事者夫婦の会“負けてたまるか”」を立ち上げ、偏見や差別と戦いながら、悩みを抱える当事者の相談対応に追われる日々を過ごしています。ご夫妻は言います。「偏見と差別は16年前も今も、あまり変わっていない気がする。むしろ役所の対応などは、当事者夫婦に厳しくなっているかもしれない」と。

「当事者だって、恋愛も結婚も出産も子育てしてもいいんだ」という当たり前の権利を勝ち取るために戦い続ける彼らの“魂のメッセージ”を聴きにきて下さい。会場からの質疑応答やご発言の時間もございます。タブーやキレイ事のない本音の話を一緒にしませんか！

～令和5年度「あしたば会」精神保健福祉普及啓発講演会～

「負けてたまるか！～当事者の恋愛・結婚・出産・子育てを経験して」

日時：令和5年4月15日(日)14:00～16:00(13:30開場)

場所：相模原市あじさい会館6階 第1・第2展示室

定員：150名

入場料：無料(申し込みはいりません。当日直接会場にお越し下さい)

講師：「自助グループ精神障害者当事者夫婦の会“負けてたまるか”！」の皆さん

きみかず ちずこ みたま
(和田公一さん・和田千珠子さん・和田美珠さん)

《事務局たより》

《NPO 法人れんきょう定期総会開催通知》

令和5年度定期総会を下記の要領にて開催いたします。

日 時： 令和5年6月25日（日） 10時～12時

会 場： あじさい会館 6階 第1, 2展示室

《令和5年度夏季受託事業販売協力依頼》

毎年恒例の受託販売にご協力をいただきありがとうございます。今年度も5月連休明けから販売を開始いたします。

年2回の売り上げの一部を会運営資金にあてておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、最近の諸物価高騰の影響を受けまして、仕入先より価格変更の申入れがありましたので、れんきょうの販売価格も変更させていただきます。何卒、当協議会の主旨、目的を再度、ご理解いただきまして、格段のご協力の程よろしくお願いいたします。

令和4年度 令和5年度

- ① 島原小町 (ES-33) (化粧箱入り全粒粉そーめん) れんきょう販売価格 ¥2,500 ➡ ¥2,800
- ② 麺ごころ (FI-40) (化粧箱入りそーめん) れんきょう販売価格 ¥3,000 ➡ ¥3,100
- ③ 麺ごころ (FL-55) (桐箱入りそーめん) れんきょう販売価格 ¥3,800 ➡ ¥4,100

※販売期間：令和5年5月8日～令和5年8月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO 法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO 法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

《新車紹介セールご協力のお願い》

～ (株) クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO 法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO 法人れんきょう事務所まで (042-755-5282)

高橋百利様よりご芳志をいただきました。ありがとうございました。

ヘルプマークに 気づいたら

お手伝いしますか？
Do you need a hand?



よかったですらどうぞ
Please have a seat.



何か困ってますか？
Are you alright?



ヘルプマークとは
外見からは分からなくても援助
や配慮を必要としている方が、
周囲に配慮を必要としていること
を知らせることで援助を得やすく
するためのマークです。



思いやりのある行動をお願いします

相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課
電話 042-707-7055 FAX 042-759-4395

